

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

485-535

事務事業名	ひ門操作業務委託事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	建設管理課		包含する細々目	1	8	3	1	11	1	595
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	ひ門操作員 (祝井沢川ひ門5名 毛賀沢川ひ門4名 欠野沢川ひ門2名 新川1号ひ門2名 新川2号ひ門1名 天竜川1号ひ門1名 天竜川2号ひ門1名 前川ひ門1名)	ひ門操作員の人数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			17			
		ひ門の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			8			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
天竜川洪水時に天竜川水系の祝井沢川、金色洞川、欠野沢川沢、新川、前川の各河川への逆流を防止し、各河川の排水をすること。	各ひ門における1年間の点検及び整備の回数	18目標	18	最終目標		
		18実績	18～20	19目標	18	
		23目標		23実績		
	ひ門講習会への出席者	18目標	17	最終目標		
		18実績	17	19目標	17	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	ひ門操作の委託 <参考>細々目名: ひ門操作業務費 毎月1回以上の機械、器具の点検をさせ、結果を報告させる。洪水警戒体制時にひ門操作員を招集し、水位観測及びその記録に従事させる。災害対策本部長(市長)の命令に基づきひ門の開閉を操作させる。	ひ門操作講習会(現地及び机上)を開催した。毎月1回以上点検及び整備を行い、ひ門を常に良好な状態に保った。 7/18～19に水害が発生したので、祝井沢ひ門及び毛賀沢ひ門の操作員を招集し、水位観測とひ門の開閉操作を行った。	講習会参加者数 各ひ門毎の点検回数 水害時従事者数	17人 18～20回 8人
	18年度の実績			
	19年度計画	講習会の開催 毎月1回以上の点検及び整備の実施結果の報告 水害発生時の水位観測とひ門の開閉操作	講習会参加者数 点検回数 水害時従事者数	17人 18～20回 17人

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金	214	262
	県支出金	138	138
	起債		
	その他		
	一般財源	145	195
事業費計(A)	497	595	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	497	595

特定財源内訳や補足事項
国庫支出金については、水害発生時の出勤実績により金額が増減する。

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害に備えている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 台風等により天竜川の水位が上昇し、支流へ逆流した結果、河川が氾濫して床下、床上浸水等の被害をもたらした。	事業を取り巻く状況の変化 地球温暖化による天候不順が多くなり、大量の降雨をともなう台風が毎年発生している。	事業に対する市民や議会の意見 水害に備え、生命財産の安全を守ることに前向きに取り組む意識が高い。
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 減災により、市民の生命財産を守っている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 連絡体制をさらに緊密にし、平時には機械、器具の保守点検に努めながら水害に備える。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 適正な人数を配置している。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 平時の機械、器具の保守点検ができなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 必要不可欠である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 市、地元による内水排除事業
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 河川管理者は国、県、飯田市であり、委託するひ門操作員は地元の区長等自治会役員で構成されており、官民一体としての取組みとなっている。		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 毎年、国からの委託費が下がっているが、生命保険料の見直しにより人件費は維持している。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 関係河川の流域に居住する市民、国、県の委託基準に基づいて支出している。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 特になし
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	